

こんにちは。文化財課の児玉です。11月は、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況も落ちつき、各地で縄文イベントが目立つようになりました。本市においても、11月7日に、縄文時代の遺跡を有する自治体の首長が一堂に会する「縄文シティサミット in あおもり」が開催されました。

今回も、前回に引き続き、世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の各遺跡の概要を紹介します。

#### ○史跡垣ノ島遺跡（北海道函館市）

【年代】紀元前7,000年～紀元前1,000年（約9,000～3,000年前）

太平洋をのぞむ段丘上に立地し、紀元前5,000年頃の縄文前期末を主体とする集落跡。竪穴建物による居住域と墓域が分離したことを示す集落です。墓からは、この地域に特徴的な幼児の足形を押し付けた粘土版が副葬されるなど、当時の葬制や精神性を示しています。

#### ○史跡北黄金貝塚（北海道伊達市）

【年代】紀元前5,000年～紀元前3,500年（約7,000～5,500年前）

内浦湾をのぞむ丘陵上に立地する貝塚を伴う縄文前期の集落跡。貝塚からは、貝殻・魚骨・海獣骨、動物の骨や角で作られた道具が多数出土し、海進・海退などの環境変化に適応した漁労を中心とした生業を示しています。



北黄金貝塚 復元された貝塚  
（出典：JOMON ARCHIVES〈伊達市教育委員会〉）

#### ○史跡大船遺跡（北海道函館市）

【年代】紀元前3,500年～紀元前2,000年（約5,500～4,000年前）

太平洋をのぞむ段丘上に立地し、縄文中期を主体とする拠点集落。竪穴建物、貯蔵穴、墓、盛土などが配置されています。祭祀場である大規模な盛土には、大量の土器・石器などが累積し、祭祀・儀礼が継続して行われていたことを示しています。

#### ○史跡入江・高砂貝塚（入江貝塚）（北海道洞爺湖町）

【年代】紀元前1,800年頃（約3,800年前）

入江貝塚と高砂貝塚の2遺跡が、「入江・高砂貝塚」として総称された史跡です。ここでは、入江貝塚について紹介します。入江貝塚は、内浦湾を望む段丘上に立地し、縄文後期を主体とする集落跡。竪穴建物による居住域、墓域、貝塚で構成されています。墓からは筋萎縮症に罹患した成人骨も確認され、周囲の手厚い介護を受けながら生きながらえたことを伝えています。